

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成22年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

## 病害虫発生予察 注意報第4号

- 1 農作物名 カンキツ，ナシ，カキ
- 2 病害虫名 果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ，チャバネアオカメムシ）
- 3 予報内容  
(1) 発生地域 県本土・熊毛地域  
(2) 発生量 多

### 3 注意報発令の根拠

- (1) 予察灯への誘殺数が8月から増加しており、薩摩川内市東郷町では第3半旬でツヤアオカメムシが801頭（前年8頭，平年49頭），チャバネアオカメムシが426頭（前年304頭，平年125頭）誘殺された。出水市Ⅰでは，ツヤアオカメムシが8月第3半旬で807頭誘殺された。また，同市Ⅱの予察灯でも，8月に入ってから誘殺数が増加している（図1）。
- (2) 出水市では，山林に近い一部のカンキツ園で飛来が確認された。
- (3) 8月上旬のヒノキでの寄生状況調査では，2種の成・幼虫の合計虫数が28.2頭/地点（うち，成虫14.8頭）であり，7月下旬の22.6頭/地点（うち，成虫7.2頭）に比べて寄生密度が増加している。また，前年の同時期に比べても寄生密度が高い（図2，表1）。
- (4) 本年のヒノキ球果結実量は中程度で前年よりも多いため，新成虫の発生も多めに推移している。今後，餌不足等によりヒノキ樹から離脱して局地的に果樹園へ飛来する可能性がある。

### 5 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の飛来は地域間差，ほ場間差があるので，朝夕に園内外を見回り，飛来を認めたら直ちに防除する。
- (2) 山林（ヒノキ，スギ）に近い果樹園ほど飛来数が多くなる傾向があり，特に，防風樹としてヒノキを植栽している園地では注意する。
- (3) すでに収穫期を迎えているナシでは特に注意する。
- (4) 飛来を認めた場合，一回目の防除は残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は，ハダニ類の発生を助長するので散布後の発生に注意する。
- (5) 薬剤のかかりの悪い場所へ集中的に飛来する可能性が高いため，薬液が樹全体にかかるように丁寧に散布する。
- (6) 防除にあたっては，防除薬剤の使用回数や使用時期を厳守し，収穫開始予定日を想定して農薬を選定する。なお，近くに収穫前の樹がある場合は，飛散の恐れがあるので適切な農薬を選択する。

(参考資料)

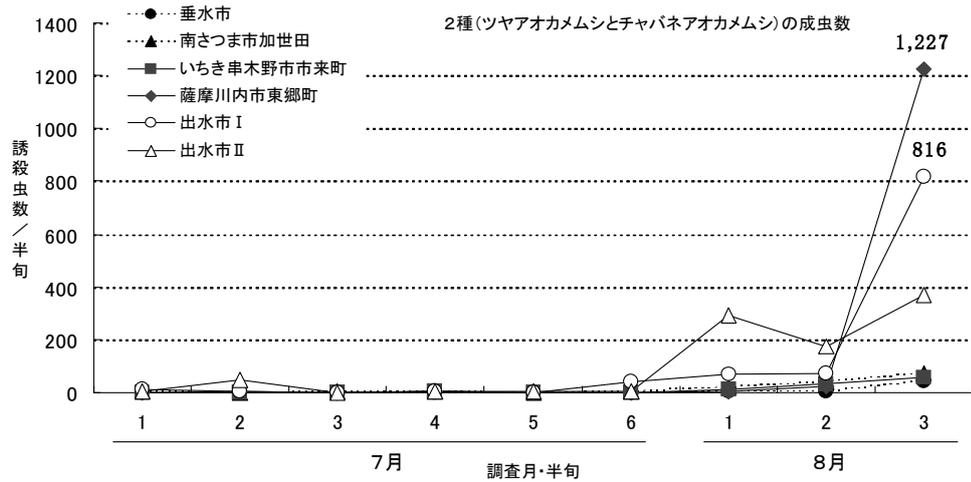


図1 予察灯におけるカメムシ類（2種計）の誘殺状況（平成22年）

注）出水市I：H9に設置した横置光源トラップ(光源高約1.5m)

出水市II：H21に設置した縦置光源トラップ(光源高2.7～3.8m)

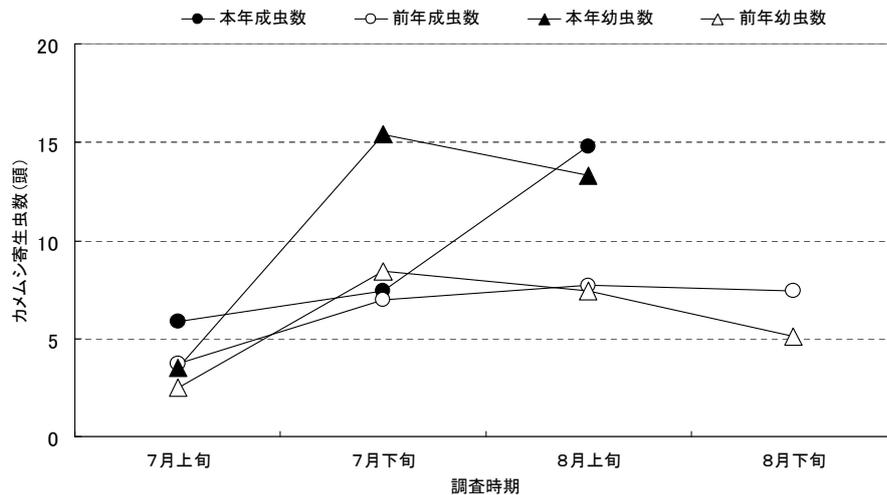


図2 ヒノキでのカメムシ類（2種計）の寄生状況推移

表1 ヒノキでのカメムシ類の寄生状況（8月上旬）<sup>1)</sup>

調査場所	平成22年度			平成21年度		
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	7月上旬	7月下旬	8月上旬
いちき串木野市1	21( 8) <sup>2)</sup>	33( 1) <sup>2)</sup>	39(22) <sup>2)</sup>	9( 6) <sup>2)</sup>	25(12) <sup>2)</sup>	22( 8) <sup>2)</sup>
いちき串木野市2	21(10)	34(11)	46(26)	20( 7)	19(11)	13( 9)
薩摩川内市東郷町	1( 0)	3( 2)	1( 0)	2( 2)	10( 2)	8( 6)
さつま町	9( 8)	23(12)	20( 6)	13( 6)	23( 8)	23( 5)
阿久根市	7( 5)	28(13)	27( 9)	9( 8)	19( 9)	26(17)
出水市高尾野町	7( 6)	18( 3)	43(26)	2( 1)	10( 4)	7( 5)
出水市1	1( 1)	9( 4)	21(15)	10( 6)	10( 4)	10( 6)
出水市2	17(15)	48( 4)	38(13)	-	-	-
出水市3	10( 3)	30(13)	36(20)	4( 4)	13( 9)	13(12)
霧島市溝辺町	7( 4)	16( 9)	16( 6)	1( 1)	11( 4)	11( 1)
垂水市	6( 4)	12( 5)	13( 8)	5( 4)	22(12)	19( 9)
南さつま市加世田	6( 4)	17(11)	38(27)	0( 0)	8( 5)	3( 1)
平均	9.4(5.9)	22.6(7.2)	28.2(14.8)	6.2(2.5)	15.6(8.4)	15.1(7.4)

注) 1. 調査日：平成22年7月5～6日（上旬），7月20～21日（下旬），8月2日～3日（上旬）

平成21年7月3～6日（上旬），7月22～23日（下旬），8月3日～4日（上旬）

2. 寄生状況調査は，1地点当たり10ヶ所を捕虫網で5回ずつ振り落とす。

3. 数字はツヤアオカメムシとチャバネアオカメムシの成虫・幼虫の合計値で，（ ）内は成虫数である。